

★高円寺図書館は、今年開館50周年です!★

# 高円寺図書館

## 2018年3月号



高円寺図書館 1967(昭和42)年 [杉並区役所広報課提供]

杉並区立高円寺図書館

〒166-0003

東京都杉並区高円寺南2-36-25

電話 03-3316-2421

《最近買った本等から》

書名	編著者等	出版者等
洞察と戦略で勝つ！剣道	鈴木剛	誠文堂新光社
平成トレンド史	原田曜平	KADOKAWA
路面電車	柚原誠	交通研究協会
学校図書館の出番です！	肥田美代子	ポプラ社
筋肉・骨の動きがわかる 美術解剖図鑑	A・スンニョギイ 他	エクスナレッ ジ
脳に心が読めるか？	岡ノ谷一夫	青土社
「元号」と戦後日本	鈴木洋仁	青土社
どこに行ってしまったの！？アジアのゾウたち	新村洋子	合同出版
広重名所江戸百景	歌川広重	美術出版社
知っておきたい水問題	沖大幹他	九州大学出版会
いま学校に必要なのは人と予算	山崎洋介他	新日本出版社
はじめてのステンドグラス	齋藤万友美	スタジオオタク クリエイティブ
ストックホルムへの廻り道	大村智	日本経済新聞 出版社
故旧哀傷	中村稔	青土社
北斎への招待	内藤正人他	朝日新聞出版
図説日本と世界の土木遺産	五十畑弘	秀和システム
めぐる日本のモノづくり		美術出版社
図解やさしくわかる目の病気	小沢忠彦	ナツメ社

＜3月の行事・展示＞ ※展示されている本は借りられます。

◎特別行事・展示

名称・テーマ等	場所・日程等	内容
「高円寺今昔」	4月1日(日)まで。 階段踊り場	※大正から昭和にかけての高円寺近辺の写真を展示中。
ねじめ正一DVD 上映会	4日(日) 午後2～3時30分 当日、直接会場へ。 1階講座室 30名	杉並区文化交流課が制作したDVDを上映します。
春をよぶお話し会 (大人向け語りの会)	18日(日)午後2～3時 15分 当日、直接会場へ。 対象：中学生以上 1階講座室 30名	ボランティアや職員が、ストーリーテリング(素話)を行います。

◎その他の展示

名称・テーマ等	場所・日程等	内容
災害を考える	2階一般展示 コーナー	災害に対する意識を持ち続ける手助けになりそうな本を展示しています。
英語は楽し！	2階 YA コー ナー	難しく構えず、気軽に楽しめそうな本を集めてみました。
たび・おでかけ	2階児童絵 本・読物コー ナー	なかなか行けない場所も、本の中ならどこへでも。何で行くか、行く途中での発見等、お出かけの本を集めてみました。
育父部(いくちぶ)おすすめのえほん	2階児童コー ナー入口	子どもに読み聞かせをしているグループのお父さんが、おすすめる絵本を展示しています。

## 【特集 東日本大震災】

2011年3月11日14時46分18秒に発生した東日本大震災。地震・津波だけでなく、福島第一原発爆発という人類史上、未曾有の大災害・大事故は、死者・行方不明者1万8千人以上、全壊・半壊40万戸以上、避難者40万人以上、あらゆるインフラの崩壊、液状化現象という被災をもたらしました。

昨年3月一部地域を除いて避難指示が解除され、また7年の歳月は記憶を風化させますが、復興というには程遠く、杉並区は今でも福島県南相馬市に8名の支援職員を派遣しています。

今回は、様々な視点からあの震災を取り上げた本を紹介します。

- 『東日本大震災 報道写真全記録 2011.3.11-4.11』朝日新聞出版
- 『河北新報のいちばん長い日』河北新報社 文藝春秋
- 『3.11 被災地子ども白書』大橋雄介 明石書店
- 『東日本大震災 石巻災害医療の全記録』石井正 講談社
- 『再び、立ち上がる!』河北新報社 筑摩書房
- 『東日本大震災 教職員が語る子ども・いのち・未来』宮城県教職員組合 明石書店
- 『陸前高田 2011-2014』畠山直哉 河出書房新社
- 『ルポ母子避難 消されゆく原発事故被害者』吉田千亜 岩波書店
- 『東日本大震災 震災市長の手記』立谷秀清 近代消防社
- 『生きている生きていく』ビッグバレットふくしま避難所記刊行会
- 『「つなみ」の子どもたち』森健 文藝春秋
- 『宮城県気仙沼発! ファイト新聞』ファイト新聞社 河出書房新社
- 『震災1年全記録』朝日新聞社出版局
- 『3.11 行方不明』石村博子 角川書店
- 『それでも、生きる』NHK イースト・プレス
- 『震災死 生き証人たちの真実の告白』吉田典史 ダイヤモンド社
- 『大熊町学校再生への挑戦』武内敏英 かもがわ出版
- 『ふるさとはフクシマ』元気になる福島 文研出版
- 『復興支援ボランティア、もう終わりですか?』中原健一郎 社会批評社

- 『ラジオ福島の300日』片瀬京子とラジオ福島 毎日新聞社
- 『放射能を背負って』中山岡淳一郎 朝日新聞出版
- 『東日本大震災 希望の種をまく人びと』寺島英弥 明石書店
- 『浪江のこころ通信』浪江のこころプロジェクト実行委員会
- 『釜石の奇跡』NHK イースト・プレス
- 『何も終わらない福島の5年』寺島英弥 明石書店
- 『試練と希望』シャンティ国際ボランティア会 明石書店
- 『巨大地震・巨大津波』平田直 朝倉書店
- 『春を恨んだりはいしない』池澤夏樹 中央公論新社
- 『あの日からの建築』伊東豊雄 集英社
- 『祈りの作法』玄侑宗久 新潮社
- 『液状化の脅威』濱田政則 岩波書店
- 『災害支援に女性の視点を!』竹信三恵子 岩波書店
- 『3.11 を心に刻んで』シリーズ 岩波書店 ※2012年より毎年刊行。
- 『面影画 私はここにいます』黒沢和義 同時代社
- 『日本の地震地図 東日本大震災後版』岡田義光 東京書籍
- 『大災害と子どもの心』富永良喜 岩波書店
- 『災害弱者と情報弱者』田中幹人 筑摩書房
- 『巨大津波は生態系をどう変えたか』永幡嘉之 講談社
- 『希望の大槌 逆境から発想する町』碓川豊 明石書店
- 『東日本大震災とNPO・ボランティア』桜井政成他 ミネルヴァ書房
- 『野馬追を生きる南相馬を生きる』阿部珠樹 イースト・プレス
- 『東松島市図書館 3.11 からの復興』加藤孔敬 日本図書館協会



※写真は、福島県浪江町の津波による被災家屋(2017年)

## 【レファレンス事例をご利用ください】

図書館にくる質問には、「以前にも同じ質問を受けた。」・「よく問い合わせがある」というケースがあります。この場合、「レファレンス事例」として登録されていれば、過去の回答例を参考にできます。

OPACでは「トップページ」→「レファレンス検索」、図書館HPからは「トップページ」→「レファレンス」→「レファレンス検索へ」で、「カテゴリー検索」・「キーワード検索」画面から事例を検索できます。

「高円寺」について調べたい場合、「カテゴリー検索」で「すぎなみ」をカテゴリー(分野)設定すると、「杉並」関連の全ての事例がでできます。「キーワード検索」で「高円寺」と入力すると「高円寺村」等の事例が表示され、資料名をクリックすれば書誌情報・資料状況もわかります。

また、東京都立図書館HPには「トップページ」→「調べる・相談する」→「レファレンス事例データベース」があり、国立国会図書館HPの「レファレンス協同データベース事業」では全国の図書館が提供したレファレンス事例を検索することができます。

**(注意)**回答内容は調査時点のもので、更新はされていません



※画像は最新のものではありません。

## 【表紙の写真から】

高円寺図書館のある場所は、もとは杉並区立第三小学校がありました。

1958(昭和33)年、杉並で初めての図書館分館が小学校内に開設されました。

小学校の移転に伴い、その跡地に杉並の4番目の図書館として1967(同42)年11月1日に開館しました。

建物の外観は当時とそれほど変わっていませんが、半世紀の間に1984(同59)年電算システムが稼働、1988(同63)年祝日開館を実施、2007(平成19)年高円寺駅前図書サービスコーナーが開設されるなど、時代に応じたサービスを展開しながら現在に至っています。

## 【参照】

『杉並区の図書館 ～図書館要覧～』 杉並区立中央図書館



現在の高円寺図書館

## 3 月

## ＜高円寺図書館カレンダー＞

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	⑤ 休館日	6	7 お話会	8	9	10
11	12	13	14 赤ちゃんタイム お話会	⑮ 休館日	16	17
18 春をよぶ お話会	19	20	21 お話会	22	23	24
25	26	27	28 お話会	29	30	31

○…休館日 下線…午後5時閉館

【開館・貸出時間】 月曜～土曜…午前9時～午後8時

日曜・祝日…午前9時～午後5時

【休館日】（祝日と重なったときは直後の平日が休館日となります。）

第1月曜日…高円寺は休館ですが、中央地区内6館は開館しています。

第3木曜日…全館休館日です。

## 4 月

日	月	火	水	木	金	土
1	②	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	⑲	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					